

話題 其の48: “お達者ですね”

先日、友人のアハマッドの誘いを受けて、彼の友人アベッド宅にお邪魔しました。アベッドは22歳でヨルダン大学の学生です。御手伝いさんの居る立派な家で、高価な調度品に囲まれて生活しています。(資産家) お邪魔している間に、おじいちゃんがちょくちょく顔を出しました。99歳の穏やかな顔をしたおじいちゃんに写真を取らせてもらいました。

実はこのおじいちゃんはアベッドの父親でした。アベッドは、この父が77歳の時に生まれたのです。そして、もう一つ驚いた話題が、この父には93歳の弟が居て、子どもが27人も居るとの事です。

「奥さんは何人居るの?」と羨ましそうに(?) 尋ねる私に『7人居たよ』と誇らしげにアベッドは答えます。

「え? イスラムでは奥さんは4人までだと聞いてるよ」と聞くと『死別したり、離婚したから次の奥さんを貰ったんだ』との事でした。

そして『従兄弟が27人も居ると色々とお助けしてくれるよ』とも付け加えました。

それはそうでしょう、従兄弟と言ってもアベッドにとっては父親世代がかなり居るでしょうから。

イラクやパレスチナでは紛争のニュースが絶えませんが、隣国ヨルダンの平和な話題でした。



話題 其の49: “天国”

職場の友人達(男ども)と宗教について語り合う(殆ど聞いているだけ)時に、彼らがよく口にするのは、“死後の天国”です。天国とはどんなところか? 一人の友人に再度聞いてみました。

天国については、イスラムの聖典であるコーランにも記述されているようですが、あくまでも一人の庶民が理解している天国を紹介します。

『人が死んだとき神によって、その人生に於いてイスラムの戒律をどのように守り、実践したのかが審判され、天国行きか地獄行きかが決まる。例え、地獄(火の世界)行きでも、決められた期間そこで罪を償えば、やがて天国へ行ける。この世の人生は人によって長さが違うけど、天国での生活は永遠に続く。天国では、美しい女性に囲まれて、お酒が川になって流れている。』

この説明、可笑しくないですか? 女性にとっての天国やお酒の嫌いな人の天国じゃないですよ。そこで、地獄ってどんなところ? 女性にとって天国は? と聞いてみたのですが、「面白い質問だけど、私は良く知らない」と答えています。

お待たせしました。当然、女性にも同じ事を聞いてみました。

『自分が望むことが叶えられるのが天国よ。私には20人くらいの男性が待っていると思うわ(^-^)。人は、それぞれ2人のエンジェルによって、常に見守られているの。

一人は善行を、一人は悪行を記録して、神に伝える。

また、純真な気持ちでメッカ巡礼を行えば過去の悪行も償うことができるのよ。

だけど、金儲けや不純な気持ちでメッカに行っても神はご存知なの・・・』ムム、少しは納得。

日本では、厳しい経済情勢を受けて、雇用状況にかげりが出て『勝ち組み、負け組み』という無常な言葉が飛び交います。まるで、社会全体がいじめの構図です。

そして、自殺者が5年間連続で3万人を超えたとも聞きます。

特に、平成14年(昨年)は、生活苦の自殺者が7900人も居たとか。

これは異常ですね。まさしく地獄のような数字です。天国と地獄はこの世にも存在するようです。

この世と言うよりも一人一人の個性や生き方の問題かもしれません。哲学や宗教がこの問題解決を人々に問いつづけているのでしょう。「私は無宗教」と言って憚らない人たち、「ウザイ」という言葉で忠告を拒否する世代。日本人は素直じゃないですね。

\*\*\*\*\*